

4A生大躍進！

TAC/W セミナーで

2016年 司法試験

合格者続々！

合格者の声



予備試験経由
2016年 司法試験合格

塩見 典大 さん



合格実績 ▶ 2016年司法試験 (2015年予備試験合格)

出身校 ▶ 神戸大学法科大学院 (卒業)

■ 4A基礎講座
■ 司法試験 4A論文過去問分析講義
■ 予備試験 4A論文過去問分析講義

問題文・条文から
解答を導く
一貫した処理手順！

中村先生は、どんな問題に対しても問題文のどこから・どのように考えることで解答の筋道を発見できるのかということ、4Aという処理手順を用いて説明してくれます。その内容も、全て条文ベースでの説明であるため、無理やり覚えるという勉強方法ではなく、繰り返し解いて使っているうちに身体に染み込む、という形で条文知識・条文の使い方を習得していくことが可能となっています。問題文・条文ベースで考えるというスタイルを身に付けることで、論理的な答案を、しっかりと問題文の特殊性を踏まえながら作成することができるようになりますので、法科大学院入試に向けた勉強の初期段階から中村先生を選んで正解でした。また、他の予備校で勉強をスタートした方でも4Aの説明は納得のいくものだと思います。さらに、教材を中村先生が全て自分で作成している点も良かったです。どんな問題でも矛盾しない一貫した説明を受けることができるので混乱が少ないからです。「4A基礎講座」のテキストと過去問を組み合わせれば、どんな問題が出題されても合格ラインは必ず確保できる能力がしっかりと身に付くと思います。

中村講師との合格者座談会は P06・P07

合格
体験記

下位2%からの
大逆転合格の秘訣は？ P08・P09

2016年
司法試験合格

守屋 いずみ さん



合格実績 ▶ 2016年司法試験

出身校 ▶ 中央大学法科大学院 (卒業)

受講歴 ▶ ■ 司法試験 4A論文過去問分析講義

中村先生を信じて
下位2%から
4Aで逆転合格！

私は、H27年の司法試験の成績が下位約2%で、合格には300点近くも足りませんでした。一般的にはこの成績を8か月で巻き返すことは無理だと思いますし、多くの方に“長期的な視点で”合格を目指すよう言われ続けてきました。そんな中でも、私に「方向性はそれでいい、間違っていない!」「全然悪くないよ!」と励ましてくれたのは中村先生だけでした。中村先生との「個別相談制度」は、直接先生に自分の全力で書いた答案を見てもらったり、受験上の辛い悩みを個別に相談に乗ってもらえる絶好の機会でした。中村先生の4Aは全科目に共通する“思考手順”ですので、未知の問題だろうと落ち着いて手順通りに構成用紙に書けば、書く内容が自動的に決まり、答案の形にすることができます。中村先生の指導の結果、手をあげず過去問演習を続けることで、今年は50点以上余裕を持って合格することができました。順位にすると約4000番上げることができたのです。ぜひ、中村先生を信じて頑張って合格してください！

中村講師との合格者座談会は P06・P07

2016年
司法試験合格

藤川 新 さん



合格実績 ▶ 2016年司法試験

出身校 ▶ 慶應義塾大学法科大学院 (卒業)

受講歴 ▶ ■ 既修者本科生 (現4A基礎講座パップ)

常に本試験を
意識した講義！

中村先生は、常に本試験を意識して試験現場で初見の問題に出会ったときの思考順序や、分からなくなったときの対処方法等について説明してくれます。全ての科目を4Aという同じ方法論に基づいて解説してくれるので、科目間の壁を感じることなくどの科目も同じように勉強し、答案を書くことができました。さらに、他の予備校と比較して教材の量が圧倒的に少なかったため、知識過多になることなく自分が得た知識の使い方を学ぶこともできました。また、中村先生の「個別相談制度」の一環である「個別学習カウンセリング」で勉強方法等を相談したところ、とても親身になって答えてくださったのを今でも覚えています。答案を見てもらう際には、どこができて、どこができていないのか、を丁寧に指摘した上で今後の勉強方針について受験生目線に立って相談に乗ってくれました。中村先生は「先生」という上の立場からではなく対等な立場からアドバイスを下さるので、とても受け止めやすく、勉強面のみならず、メンタル面・生活面についても的確なアドバイスを下されます。

中村講師との合格者座談会は P06・P07

2016年
司法試験合格

斉藤 雄祐 さん



合格実績 ▶ 2016年司法試験

出身校 ▶ 中央大学法科大学院 (卒業)

■ 4A基礎講座
■ 司法試験 4A論文過去問分析講義

問題解決に向けて
考えた軌跡が
本試験での武器になる！

中村先生は、受験生の立場になって一緒に問題文の使い方等を悩み考えてくれ、先生なりの解決策を提示してくれます。そのため、先生と一緒に問題解決に向けて考えた軌跡が身体の中に叩き込まれ、それが本試験で無意識的に使える武器となるのです。本番までに4Aという手法で全科目を共通の思考プロセスで解くというコンセプトの下、中村先生と一緒に鍛えた能力はあなたを合格へ導くでしょう！また、4Aで問題を解く構造は、実務で繰り返し使われる主張反論と同様の構造であり、4Aで問題を解くということは司法試験合格後の司法修習、その先の実務での思考プロセスを鍛えているのと何ら変わりありません。4Aの本質は、試験対策に有効と銘打っておきながらも受験生のその先を見据えた能力まで鍛え上げる点にあると考えています。この点において、中村先生が作り出したカリキュラムは他の受験指導者が作ったものとは圧倒的な差があり、4Aを学ぶことで常日頃から相手の立場になって考える素養も身に付けることができ人として大切なことも学べたと思います。

中村講師との合格者座談会は P06・P07

予備試験経由
2016年 司法試験合格

H.S. さん
—— 社会人合格者 ——



合格実績 ▶ 2016年司法試験 (2015年予備試験合格)

出身校 ▶ 東京大学農学部 (卒業)

受講歴 ▶ ■ 司法試験 4A論文過去問分析講義

確実な合格を目指すには
最高の講座！

中村先生の「司法試験 4A 論文過去問分析講義」は、出題趣旨や採点実感が求めているような理想的なことではなく、常に受験生目線で、実際の本試験でどこまでできるのか、またどこまでできなければならないかという現実的・実践的な観点からの分析がなされており、確実に合格を目指す意味ではとても有益でした。講義レジュメについても、多くの過去問解説書籍・レジュメの中で最も試験に使えるレジュメだと思いました。司法試験のサンプル問題・プレテストから分析しているのは中村先生だけです、中村先生自身が全て作成しているため、考え方も一貫しています。過去問を通じて考え方を身に付け、自分が受ける本試験でその一貫した考え方を活かすのであれば、「司法試験 4A 論文過去問分析講義」は最高だと思います！

CONTENTS

合格者の声

● 合格者メッセージ P01
● 座談会 P06
● 合格体験記 P08

法曹の魅力・試験ガイド

● 法曹の魅力と仕事 P12
● 司法試験ガイド P12

4A (4段階アルゴリズム) とは

SPECIAL TOPICS

● 中村講師から受験生へのメッセージ P14
● 司法試験はなぜ難しいのか？ P16
● 最短・確実な勉強法=4A (アルゴリズム) P18
● 4A基礎講座 講義イメージ P20
● 4A基礎講座 教材 P22
● 4A論文解法パターンテキスト
● 4A条解テキスト

コースガイド

● 最短合格カリキュラム P24
● 中村講師のコース選択ガイド P26
● 4A基礎講座 P28
 ・4A入門講義
 ・4A論文解法/パターン講義
 ・4A条解講義
● 4A実践答練 P30
 ・基礎答練 ・応用答練
● 司法/予備試験4A論文過去問分析講義 P32
● 短答過去問解法分析講義 P34
● 選択科目・合格者講義シリーズ P36

学習メディア・フォロー制度

● フォロー制度・割引制度早わかり表 P40
● 通学メディア P42
● 通信メディア P43
● 安心のフォロー制度 P44
● 個別相談制度 P46

日程表・受講料

日程表

● 4A入門講義 P48
● 4A論文解法パターン講義 P48
● 4A条解講義 P49
● 4A実践答練 P49

受講料

● 受講料一覧 P50
● お得な割引制度 P51

教育訓練給付制度 (一般) P52
TAC申込規約 P53
申込方法・教育ローン P54
申込書記入上の注意・記入例 P54
通信メディア郵送専用申込書 P55
校舎マップ P56
書籍案内 P57
無料講座説明会・無料体験入学 裏表紙

合格者の声

予備試験経由
2016年 司法試験合格

T.N. さん



合格実績 ▶ 2016年司法試験 (2015年予備試験合格)

出身校 ▶ 東京大学文学部 (卒業)

■ 4A基礎講座
■ 4A実践答練
■ 司法試験 4A論文過去問分析講義

先生を信じて勉強した
ことが合格の秘訣！

私は、法学部も法科大学院も卒業していませんが、中村先生の講座で予備試験、司法試験に短期合格できました。中村先生の講座は、試験合格に必要な知識・テクニックのみを習得でき、試験対策上、無駄な勉強は一切ありません。したがって、私が短期合格できた理由は、TAC/Wセミナー (中村先生) を信じて学習を継続した点にあると思います。予備試験最終合格後から司法試験受験までの期間における選択科目 (労働法) の学習においても、一般の方であれば馴染みのない選択科目では論文の書き方を身に付けるまで苦勞するかと思いますが、4Aで既に基本7科目を習得していれば、その応用で合格レベルまで到達することができます。実際に私は、4Aで身に付けた解法パターンを応用することで、本試験の労働法では十分合格できる成績を得ることができました。

次はあなたの番です！

4A生大躍進！

TAC / W セミナーで

2016年 司法試験

合格者続々！

合格者の声

予備試験経由
2016年 司法試験合格

K.Y. さん



合格実績 ▶ 2016年司法試験 (2015年予備試験合格)

出身校 ▶ 一橋大学法科大学院 (卒業)

■ 予備・法科併願入門総合本科生 Plus
(現4A基礎講座パック)
受講歴 ▶
■ 司法試験 4A論文過去問分析講義

全ての過去問が
同じように見えてくる！

中村先生は、知識としておさえておくべき部分はどこまでかということを明確に示してくれます。根拠なくこの知識をおさえておかねばならない、ということではなく、“過去問で出題されており多くの受験生が知っているはずだから”、“過去問で出題された知識を応用してこのように本試験問題に食いつくことができるから”、といったように、しっかり根拠を示して頂けるので不必要に手を広げる必要がなくなります。また、中村先生は全ての過去問を一貫した方法論で解説してくださるので、繰り返し復習するうちにどの年度の過去問も本質的な部分は同じという感覚が得られるようになり、この感覚を自然に身に付けられることが最大のメリットです。さらに、講義レジュメに載っている講師作成答案例が、時間的制約のある中効率的な勉強を進めていく上で大変参考になりました。出題趣旨・採点実感を踏まえた上で無理なくいかに点数を集めるか、合格最低ラインはどこか、加点部分はどこかということがきちんと明示されており、自力でゼロから過去問を分析するよりもはるかに効率よく学習を進めることができました。限られた時間を有効に使うためにも本試験を誰よりも深く分析している中村先生の講義を利用しないという選択肢はないと思います。

2016年
司法試験合格

S.W. さん



合格実績 ▶ 2016年司法試験

出身校 ▶ 北海道大学法科大学院 (卒業)

■ 4A基礎講座パック
受講歴 ▶
■ 司法試験 4A論文過去問分析講義

本試験現場で使える
知識・表現が満載！

本講座のテキストは、とてもとても薄いです。しかも、問題の捉え方についての流れも含めて示してあってこの薄さですので、本当に画期的です。こんなに薄くて良いのか心配になりますますが、受講していくうちに、結局は知識よりも「問題を解く」という行為が重要だと分かります。本試験現場で求められる「問題を解く」という行為を、日ごろから良問を使って常に練習し続けることで、なんとなく合格最低ラインや外せない点が分かるようになり、自然と本試験現場で使える知識・表現が身に付くように作られている教材だと思います。また、本講座の特色として、とにかく自分で手を動かしてから受講するという仕組みになっています。通常の演習用教材などでは、予習もやろうと思えばどこまでも深くできてしまい、本番で実際に書ける程度なのかどうか判断が困難です。現実の訴訟とは異なり、司法試験は基本的な知識とそこから導ける一定の解決・処理能力が問われるため、全く性質が違います。中村先生は、そういった司法試験をこれでもかと分析し、それに見合った程度の書き方を受験生の視点から指導してくださるので、必要なレベルの能力、学習のイメージを身に付けるのに最適だと思います。

2016年
司法試験合格

H.N. さん



合格実績 ▶ 2016年司法試験

出身校 ▶ 東京大学法科大学院 (卒業)

受講歴 ▶ ■ 司法試験 4A論文過去問分析講義

受験生目線での思考過程が
参考になりました！

「司法試験 4A論文過去問分析講義」は、中村先生が受験生の視点から問題を解くという形になっており、問題文を丁寧に読みながらその時どのようなことが考えられるかという点について解説されているため、自分で実際に問題を解く時に非常に参考になり、問題文を読んでどのようなことを考えるのか、そしてそれをどのように答案へつなげていくのかを学ぶことができました。さらに、講義のレジュメには、講師作成答案例の前に「解答過程」という項目があります。ここには、問題文からどのようなことが問われているかという点に始まり、それに答えるためにどのような知識・思考を用いるかという点が書かれています。この点を自分で問題を見て思い浮かべられるようになることが大切だと感じました。さらに、その問題は現場で考えるものか、解答にはどの程度のものが求められるかという点も書かれており、この問題に対してどれほど深く解答しなければならないかを考える上で非常に参考になります。講師作成答案例には中村先生のコメントも付されていて、その答案はどのような意図で書かれているか、どの程度の記述を必要としているかといったことを知るのに役立ちます。実際の試験でも、答案を作成する上で大変役にたちました！

2016年
司法試験合格

K.S. さん



合格実績 ▶ 2016年司法試験

出身校 ▶ 東北大学 (卒業)

■ 既修者本科生 (現4A基礎講座パック)
受講歴 ▶
■ 司法試験 4A論文過去問分析講義

4段階アルゴリズム (4A)
は最強！

私がTAC / Wセミナーを選んだ理由は、司法試験受験業界において、長い歴史に裏打ちされた確かなブランドがあるからです。TAC / Wセミナーの基礎講義や答練、過去問解説は基礎基本を大事にする講義でした。このような講義こそ司法試験に求められるものであり、TAC / Wセミナーの講義は司法試験に直結するものです。また答練などは、重要論点を中心に適度な量と確かな問題・解説で、消化不良になることなく、確実に実力を養成できるものでした。このように、初学者でも実力を付けられるカリキュラムがあったため、TAC / Wセミナーを選びました。司法試験は、問題文を読み、自分の知っている論点に引きつけて論証を吐き出す、それだけで合格することはできません。事案をしっかりと法的に分析することが求められます。そして、この事案の法的分析手法の決定版こそ中村先生の4段階アルゴリズム (4A) だと思います。事案から生の紛争を取り出しそれを法的思考に落とし込む手法はまさに目から鱗が落ちるようでした。そして、ロースクール生活から司法試験まで常にこれを意識したことが、司法試験に一発合格を果たせた一番の理由だと思います。

2016年
司法試験合格

R.S. さん



合格実績 ▶ 2016年司法試験

出身校 ▶ 九州大学法科大学院 (卒業)

受講歴 ▶ ■ 司法試験 4A論文過去問分析講義

他の予備校答案と
一線を画する
中村先生の答案例！

みなさんの合格答案のイメージはどのようなものですか？ 私は、「司法試験 4A論文過去問分析講義」を受講するまでは、長い問題提起から始まり、理解できていない理由を書き不正確な規範を書くのが当たり前だと思っていました。しかし、そうした答案は合格のために必須のものではなく、むしろ合格可能性を下げてしまいます。中村先生の答案は、問題文の引用が非常に多いため不正確なものが全くなく、先生の講義を受講することで、合格に必要なことは本をたくさん読むのではなく答案を書く練習をすることだと気付きます。合格答案をどのように書けば良いかよく分からずに悩んでいる方は、中村先生の答案を読むだけでも合格に近付くと思います。司法試験に合格するために過去問を分析することは誰もが行うことだと思いますが、分析の仕方によっては単なる時間の無駄になってしまうこともあります。私も、自分なりに合格答案や出題趣旨を読んだりしていましたが、一人で本番を意識した過去問分析を行うことは困難で、いまいち成長を感じることができませんでした。出題趣旨や答案を読んで終わりという他校でよくあるような講義ではなく、実際に本番ではどのように問題文を読むかということから教えてくれる中村先生の過去問分析講義を選んで本当に良かったです！

2016年
司法試験合格

H.O. さん



合格実績 ▶ 2016年司法試験

出身校 ▶ 中央大学法科大学院 (卒業)

■ 既修者本科生 (現4A基礎講座パック)
受講歴 ▶
■ 司法試験 4A論文過去問分析講義

当事者の主張の分析と
条文への着眼点！

中村先生の講義で最も良かった点は、当事者の主張を当事者の立場に立って細かく分析していく点と、条文を非常に重視する点です。私が司法試験に合格できたポイントは、中村先生の講義により、当事者の主張をまずはしっかり分析する癖をこの講座で付けることができたことと、中村先生が条文を非常に重視していたおかげで、まず条文からといった姿勢を身に付けることができたことだと思います。さらに、中村先生の「司法試験 4A論文過去問分析講義」では、先生が作成した講師作成答案例を教材として頂くことができます。もちろん、受験生の現場での考え方を分析するという視点では受験生の再現答案を分析することも重要です。しかし、過去問分析はただ解くだけでなく適切な解答までたどり着ける状態にしなければやり切ったとは言えないと思います。受験生の再現答案はあくまで2時間で書くことができる最大限の答案であり、完全な解答まで書いている答案を揃えることは難しかったのですが、中村先生が徹底的に本試験を分析して作成した講師作成答案例 (完全解) のおかげで、適切な解答にたどり着くまでの時間を短縮することができ、非常に役立ちました。中村先生を信じて頑張ってください！

合格者の声

次はあなたの番です！

4A生大躍進！

TAC/W セミナーで

2016年 予備試験

法科大学院入試

合格者続々！

合格者の声

合格者の声

2016年
予備試験合格

T.O. さん
社会人合格者



合格実績 ▶ 2016年予備試験

■ 4A基礎講座
受講歴 ▶ ■ 司法試験 4A論文過去問分析講義
■ 予備試験 4A論文過去問分析講義

2016年
予備試験合格

S.F. さん
社会人合格者



合格実績 ▶ 2016年予備試験

■ 司法試験 4A論文過去問分析講義
受講歴 ▶ ■ 予備試験 4A論文過去問分析講義

2016年
法科大学院入試合格

末高 裕之 さん



合格実績 ▶ 早稲田大学法科大学院 既修者コース (半額免除)
中央大学法科大学院 既修者コース

出身校 ▶ 立教大学法学部 (卒業)

受講歴 ▶ ■ 予備試験 4A論文過去問分析講義

サラリーマン受験生でも 4Aで最短合格！

4Aでは、問題文を一読し当事者の言い分、法的構成、あてはめを整理すれば答案構成ができあがります。あとはそれを文章で表現すれば答案になるため、従来の論点型学習に比べ思考の負担が少なくなると思います。

講義で使用する「4A論文解法パターンテキスト」は、他校の教材と比べてとても薄く、人によってはこの薄さは不安を煽るかもしれません。私は仕事と併行して学習していたため他校のような多くの教材をこなす余裕はなく、予備試験合格までに必要であろう学習メニューの中から「4A論文解法パターンテキスト」の復習や予備・司法論文全過去問演習など、優先的に消化すべき事項を優先しその後で他の教材に手を広げることになりました。しかし、結局手を広げる余裕はなく、上述のメニューを2～3周こなした時点で試験当日を迎えてしまいました。それでも何とか合格できたので、結論として「4A論文解法パターンテキスト」のボリュームは最適だったのだと思います。さらに、私はサラリーマン稼業と家事育児の手伝いをしながらの学習でしたので、学習内容が合格に直結していることを常に検証する必要がありましたが、中村先生との「個別相談制度」を活用することで、学習の優先順位が明確になり迷いなく学習できました。

時間のない 社会人受験生なら4A！

私が受講した他校の過去問講座は、出題趣旨等を踏まえた目標答案を追及することに専ら主眼が置かれていましたが、中村先生の「司法試験／予備試験 4A論文過去問分析講義」は、どこからが加点事由なのか、他の受験生がどのあたりまで書けるものなのか、といったことに重点が置かれており、問題文へのアプローチ・思考の仕方にも多くの時間が割かれています。したがって、時間のない中で試験に臨もうとする私のような社会人受験生にとって、非常に実践的かつ有益なものでした。

さらに、「司法試験／予備試験 4A論文過去問分析講義」で配付されるレジュメの講師作成答案の横に、中村先生のコメントが吹き出しの形で併せて記載されている点も良かったです。コメント中には、当該部分につきそのような記載をした理由、加点事由であるか否か、参考となる判例とその引用などの情報がぎっしり詰まっており、コメントと講師作成答案を照らし合わせることで、合格最低ラインの答案がどの程度か、どういう思考の流れを辿れば良いかが一見して分かりやすい作りとなっています。また、レジュメが年度・系統別で非常に薄くコンパクトであり、出題趣旨等の法務省のホームページに行けば閲覧できる情報を貼り付けて分厚くしていない点にも、好感が持てました。

ここまで論文の 処理手順を重視した 論文分析は他にない

終始知識をインプットする内容で論文の解法とは程遠い他校の論文講座を受講していた私が、勉強期間に応じて知識の量は増えていくがこのまま勉強していても論文が解けるようにならないと困り果てていたところ、中村先生が論文の解き方の手順を重視した講義を行っているということを知りました。中村先生の講義を受講しての率直な感想は、受験生目線で思考過程を示して処理手順を埋めていく、ここまで論文の処理手順を重視した論文分析は他にないということです。

さらに、この点も他校にはない特長だと思いますが、2ヶ月に1回程の頻度で中村先生と1対1で学習の悩みや疑問について相談できる「個別相談制度」があります。ここで勉強の悩みや講義内容の質問、勉強方法など相談することができ、法科大学院入試の受験対策やステートメント(志望理由書)を添削して頂きました。他にも自分の作成した答案を直接添削してもらい、勉強の方向性が正しいかどうかを確認する事ということにも利用できると思います。中村先生とじっくりと話し合うことによって、自分に足りないもの、勉強の改善点が見えてくると思いますので、この「個別相談制度」は講座の大きな利点です。

2016年
法科大学院入試合格

K.A. さん



合格実績 ▶ 専修大学法科大学院 既修者コース
(スカラシップ入試)

出身校 ▶ 早稲田大学商学部 (卒業)

受講歴 ▶ ■ 4A基礎講座バック

4A基礎講座で楽しく 法律の勉強ができました！

「4A基礎講座」を選択した最も大きな理由は、他の司法試験系の予備校では100万円近くかかってしまう所もある中で、わずか40万円弱で合格に必要な知識を手に入れることができる「4A基礎講座」が、学生である私にとってとても魅力的であったからです。さらに、テキストの薄さも大きな決め手になりました。私は、限られた量を何度も繰り返すことが勉強の本質だと思っています。「4A基礎講座」は、1番厚い民法の「4A条解テキスト」でも300ページ弱、憲法などの薄いものなら100ページほどです。これなら無理なく何度も繰り返し学習できると思ったことも講座選択の判断要素でした。さらに、中村先生は、初学者でもついて来られるよう、法律を知っている方なら「当たり前だよ」と思われるようなことでも丁寧に説明してくれます。それでいて、講座を進めていくうちに自然と司法試験や法科大学院入試の過去問が解けるようになるのだから、今まで法律を勉強したことがない、という方には強くオススメです。また、渋谷校のライブクラスに出席していれば講義後にどんな質問でも喜んで受け付けてくれますから、疑問に思うことはすぐに解消できます。中村先生は、講義の進め方がいい意味で「ゆるく」、とすればお堅くなりかちな法律を楽しく勉強することができました。

2016年
法科大学院入試合格

M.Y. さん



合格実績 ▶ 早稲田大学法科大学院 既修者コース (半額免除)
慶應義塾大学法科大学院 既修者コース
中央大学法科大学院 既修者コース

出身校 ▶ 慶應義塾大学法学部 (在学中)

受講歴 ▶ ■ 4A基礎講座バック

初学者でも 頑張れる講座

私は、法学部でありながら学部1,2年生の頃はあまり法律の勉強をしてこず“法律は難しい”というイメージを持っていました。そんな学部3年生の春、中村先生の入門講座(4A基礎講座)の体験に行き、他校とは違い「Input」ではなく「Output」から始めることに驚きました。いざ受講を始めてみると、中村先生の「4A論文解法パターン講義」と「4A条解講義」を通して4Aの解法をマスターすることで、基礎力のみならず、論文を書く為に必要な情報処理能力を身に付けていくことができました。先生は全ての問題を4Aで解き進めていくため、解き方がぶれず、初学者の私でも大変分かりやすかったですし、講義で配付される「4A論文解法パターンテキスト」には上質な問題が集約されており、繰り返し復習することで網羅的に学習することができました。論文指導をしてくださる時は、必ず重要なポイントと加点事由を分け、合格最低ラインをはっきりと提示してくださりました。受験生の視点で毎回の確に指導してくださり、大変ありがたかったです。さらに、中村先生はとても気さくな方で、講義も少人数制であったため、他の予備校と比べて先生との距離が非常に近く、質問や相談がとてもしやすかった点も良かったです。

2016年
法科大学院入試合格

Y.M. さん



合格実績 ▶ 慶應義塾大学法科大学院 既修者コース

出身校 ▶ 早稲田大学政治経済学部 (卒業)

受講歴 ▶ ■ 4A論文解法パターン講義
■ 予備試験 4A論文過去問分析講義

法学部出身でなくても 4Aなら大丈夫！

初学者の方に限らず、「どういった思考過程でどのように答案を書いたら良いのか分からない…」と苦勞されている方は多いと思います。他校の論文講義では、解答例と論点の説明に終始し答案作成に至る思考過程を説明してくれるものはあまりないですが、中村先生の講義は、4Aを貫いて、答案に至る思考過程を説明してくれるので、私もすんなり理解することができました。また、暗記する知識を最小限にして、その最小限の知識を最大限に答案に生かすという講義スタイルも、暗記が苦手な私には合っていました。ご自身の答案作成に不安を感じている方や、論証パターンなどの暗記は苦手という方には、中村先生をお勧めしたいと思います。

また、私は法学部出身ではありませんでしたので、法学部出身の方々に追いつくことができたのかといった不安を感じながら日々勉強していましたが、中村先生との「個別相談制度」を利用して不安を解消したり、趣味で気分転換を図るなどして結果的に法科大学院既修者コースに合格することができました。これから目指される皆さんも、日々研鑽を積み、ご自身の目標に向かって頑張っていただきたいと思います。

合格
体験記

社会人受験生必見!! P10・P11
社会人合格者の1週間の学習スケジュールを大公開!

まだまだ合格者続々! 詳細はホームページへ

Wセミナー 司法試験

検索

次はあなたの番です!

下位2%から4Aで逆転合格！

なぜ、約半年という短い期間で、約4,000番のジャンプアップを果たし合格することができたのか？
中村講師とのインタビューを交えながら、その秘密を解き明かします！

2016年
司法試験合格

守屋 いずみ さん

プロフィール

2015年中央大学法科大学院末修者コース卒業。2015年、初受験の司法試験において、下位約2%である4,800番台で不合格に。そこから中村充講師の「司法試験 4A論文過去問分析講義」を受講し、手を広げず過去問をくり返すことに専念した結果、2016年の司法試験では938位で見事合格を果たす。

中村講師 合格おめでとうございます。まず早速、昨年残念な結果になってしまった原因について教えてもらえますか？

守屋 ロースクールでの成績がとても悪く、卒業できるかどうかははっきり分からなかったことから司法試験の勉強を始めるのが遅くなってしまったことが大きな要因かと思います。さらに、それまでのロースクールでの勉強でも司法試験対策的なことは一切できていなかったのも、初めての受験では実質3、4ヶ月の勉強で受験したことになりますね。

中村講師 なぜロースクールで司法試験対策ができなかったのですか？

守屋 意識が低かったのだと思います。試験の前に本気で勉強したら合格できる、と心のどこかで思っていたところがあって、今はまだやる時じゃない、と思っていました。その結果が、初受験時の順位になって現れてしまいましたね。

中村講師 なるほど。そこから1年で見事合格できたのは、今年はやるべきことをやった結果ということなんでしょうね。では次に、なぜ私の講座を受講しようと思ったのか、そのきっかけを教えてくださいませんか？

守屋 ロースクールで全くといっていいほど試験対策が進んでいなかった私が、初めて司法試験の過去問を解いた時、何をどうやって書こうか考えているうちに2時間があっという間に終わってしまいました。「このままでは絶対に5月の本試験に間に合わない」という確信と共に一体どうしてよいかも分からず途方に暮れていました。そんな時、私の優秀な親友でもある4A受講生の答案を見せてもらいました。すると、その答案は法律の難しい話は全く書いていないのに、見事に出題趣旨・採点実感に沿えているのです。大変失礼ながら「これなら私もできそうだし」と思い、どう

やったらこのような答案を作れるのか、その思考過程を教えてほしいと頼みました。そこで紹介されたのが中村先生の4Aです。最低限の知識で合格するという中村先生のメソッドは、暗闇の中の一筋の光でした。

中村講師 ありがとうございます。率直に、私の講義を受講していかがでしたか？

守屋 先生は最終的には完全解[※]を示してはくださいますが、講義のメイン・醍醐味は、先生が問題文を初見で読んでいる時に、どの単語を見てどう考えたのか、何を問われているのかをどうやって気付いたのか、何を考えて答案構成をして最終的な答案の形に仕上げるのか、を実際に目の前で再現してくださるところにあります。中村先生の4Aは全科目に共通する“思考手順”ですので、未知の問題だろうと落ち着いて手順通りに構成用紙に書けば、書く内容が自動的に決まり、答案の形にすることができます。初回受験の不合格の後、二度目の受験までの約半年間はひたすら先生の講義を自分の頭で再現できるほどに、過去問を繰り返し、中村先生の解説講義を聴いていました。

中村講師 そうなんですね、嬉しいですよ！では、最後にこれからの後輩に向けて改めてメッセージを！

守屋 司法試験はきちんと採点の基準（ルール）がある点取りゲームですから、その対策をきちんとできれば短期合格できると思うのです。中村先生が各科目通じて常々おっしゃっていたことですが、自分の書くことのできる答案の枚数を、配点割合に応じた設問数で割った分量は非常に少ないものです。ですので、仮にいかに難しい法律論や議論を知っていたとしても、それを長々展開する紙幅はありません。誰でも知っている最低限の知識をコンパクトにまとめ、あとは問題文の事実の評価を自分の結論に説得的に結びつけることができれば採点実感の言う“一応の水準”は守ることができると実感しています。約4,800番台で合格まで300点近く足らなかった私が、手を広げず中村先生を信じて過去問演習を続けた結果、今年は50点以上余裕を持って合格することができました。順位にすると約4000番上げることができたのです。もし、去年の私のように良い結果が出ずもがいている方がいらっしゃるなら、ぜひ中村先生を信じて頑張って合格していただきたいです。

中村講師 ありがとうございます。

※完全解……中村講師が作成した講師作成答案例

合格発表直後に守屋さんから中村講師の下へ届いたメッセージ

中村先生

ご連絡、遅くなりまして申し訳ありません。先生、お元気ですか。来年の受験に向けて、予備試験過去問分析講義を新たに受講しようとして検討している最中に、予想外に自分が今年合格していると大学院から連絡があり、夢が現実かワケがわからずにいるうちに、すっかりご連絡が遅くなってしまいました。

先生には去年、土壇場になって司法試験過去問分析講義を受講した際、駆け込み受講にもかかわらず丁寧にカウンセリング対応等いただき、今年無事司法試験に合格することができました。

私は去年（現役時）、公法系64点、民事系97点、刑事系44点、選択34点（以上、全て科目足切ナシ）、択一130点、総合548.25点（合格最低点835点、私は下位約2%）で落ちています。

それが、今年、公法系113点、民事系181点、刑事系107点、選択48点、択一144点、総合932点で合格することができました。総合順位は938位なので、約4000番程度順位を上げることができました。

去年、論理的にあり得ないほどの下位で落ちた私は、誰にアドバイスを仰いでも「入門書を読んでから基本書を丁寧に通読することから始めなさい」「過去問演習をする段階にはまだない」等、次々回の受験を見越したアドバイスばかりで、8か月後に受かるという観点からのアドバイスは一切受けることができませんでした。そんなわけでして、ちょうど1年前の私を「8か月頑張ればなんとかなる！」と励ましてくれたのは、中村先生しかいらっしゃいませんでした。直接お話ししたわけではありませんが、現役時に先生が有難くも個人面談の録音を許可してくださったおかげで、辛い浪人中、何度も何度も先生には励ましていただきました。

先生が、絶対に手を広げずに過去問を何度も繰り返し解くこと、何度解いても必ず新しい発見があるから、過去問を使い切ることを、講義の中で繰り返しおっしゃられていたことを常に肝に銘じ、一度やったことのある問題をやるのは辛いですが、先生を信じて何度も解いては自分の思考プロセスを先生にすり寄せて、染み込ませるように繰り返しました。

その結果、今年本試験では落ち着いて、先生が講義で言われていたように「ここは今までの過去問でメインで聞かれたことはないのだからちゃんと条文を挙げて択一知識を流用する程度で沈まないだろうな」とか考え（←民法です）、焦らずに書き切ることができました。

本来は受講した年に受かって、講座のウェブページ文句通り「4Aでゼロから一発合格」！と言いたかったのですが、私にとっては、一発合格よりもこの逆転合格の方が（辛さが大きかった分）うれしいです（負け惜しみですね。笑）。

この一年は誰からも見はなされていたところがあるので（ゼミすら組んでくれる人がいなかった）、本当に今年合格できたのは中村先生の過去問分析講義のおかげでしかありません。先生の過去問分析講義と巡り合えなければ今年の合格は絶対にありえなかったことですので、感謝してもしきれません。短い間でしたが本当にありがとうございました。

中央大学法科大学院2015年卒
守屋いずみ



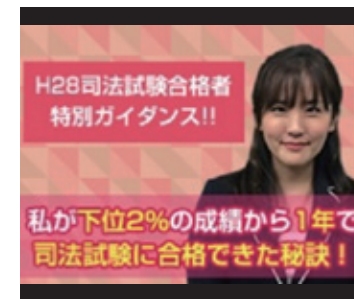
守屋さんの**大逆転合格の秘訣**を動画で無料公開中！

TAC動画チャンネル

TAC動画チャンネル 司法試験

検索

<http://www.w-seminar.co.jp/shihou/tacchannel.html>



➤ H28司法試験合格者が語る！私が下位約2%の成績から1年で司法試験に合格できた秘訣！

H27年司法試験において約4,800番台（下位約2%）という成績に終わり、そこから約半年という短い期間で中村充講師の過去問分析講義をうまく使いながら見事H28年司法試験合格を果たした合格者が、短時間でこれだけのジャンプアップを果たした秘訣をお話します。ミスを克服する方法、過去問の上手な使い方など、今年不合格だった方はもちろん、勉強法で悩んでいる方も必見です！

守屋さんが受講した「司法試験 4A論文過去問分析講義」の詳細はP32へGO！

具体的な1週間の学習スケジュールを大公開！

サラリーマンでも予備試験に合格できる！
フルタイムで働くサラリーマン受験生が、家事・育児とも両立しながら予備試験に合格した軌跡！

2016年
予備試験合格

T.O.さん

プロフィール

社会人としてフルタイムで働きながら、家事・育児と両立しつつ見事2016年予備試験に最終合格。社会人経験で培ったコミュニケーション能力を活かし、予備試験の最終関門である口述試験では、27位という高い順位を叩き出した。学習当初から中村充講師の「4A基礎講座」を通信講座で受講し、「個別相談制度」もうまく活用しながら見事予備試験最終合格を果たした。

中村先生(4A基礎講座)のココがオススメ

教材編

「4A論文解法パターンテキスト P22」はとても薄く、この薄さは不安を煽ります。しかし、中村先生との「個別相談制度」の一環である「個別学習カウンセリング」により、当時の私が予備試験合格までにこなす必要がある学習メニューは、「4A論文解法パターンテキスト」の復習に加え、「司法試験/予備試験 4A論文過去問分析講義」を利用した過去問検討および復習であると考えていたので、これらのメニューをこなし、いずれも同講義の教材として配付される「講師作成答案例」と同水準の答案が作成できるようになった上で、他の教材に手を広げることとしました。

結局、手を広げる余裕はなく、上述のメニューを2～3周こなした時点(当然、私の答案レベルは「講師作成答案例」の水準に達していません)で予備試験論文当日を迎えてしまいました。それでも何とか合格できたので、結論として「4A論文解法パターンテキスト」のボリュームは最適だったのだと思います。

また、私は飽きやすい性格なのですが、「4A論文解法パターンテキスト」に掲載されている問題は、2度目、3度目に解くとまた違った解答筋が見えてくるようなおもしろい問題が含まれており、飽きずに取り組みました。そして、発見した解答筋については、中村先生との「個別学習カウンセリング」等を利用してコメントをもらったりすることができたので、これもなかなかおもしろかったです。

口述模試編

社会人でしたので、論文式試験合格後に課される最終関門である「口述試験」の情報を得る手段が乏しかったのですが、TACで実施してもらった「口述模試」では、入室の仕方や誘導の引き出し方といった受験時のテクニックまで教わり安心することができました。また、噂レベルでは圧迫されることも少なくないと聞いておりましたので、中村先生に依頼して「圧迫モード」で模試を実施してもらい、窮地に陥ることを事前に体感できました。この時の恐怖体験(?)から、口述模試から口述試験までの約10日間は必死で勉強することができました。

そして、この時も口述試験までの残された期間で何を優先的に勉強すべきか、といった実践的なアドバイスもいただけたので、とても助かりました。

仕事と両立しながら予備試験突破を目指す
社会人受験生へのメッセージ

私はサラリーマン受験生でしたので、勉強に割ける時間が安定しない毎日でした。よって、上述の通り、自分に必要な学習メニューの大枠をある程度決定し、これに優先順位をつけ、淡々と本試験までこれをこなすように努めました。合格に向けてやった方が望ましい勉強はたくさんあると思いますし、それらは可能な限りこなした方がよいのだと思いますが、自分には時間がなかったため、「4A論文解法パターンテキスト」「予備試験論文過去問」「司法試験論文過去問」を学習の中心に据えてこれらを繰り返す方法しかとれませんでした。それでも、なんとか合格できたので、勉強に割ける時間が少ない方も、合格に直結する各自に最適な学習メニューを把握すれば勝機はそれなりにあるのだと思います。そして、そのメニューはある程度自分で考えた後は、プロ(中村先生)の力を借りて決定するのが効率的かと思います。TAC司法試験講座の魅力は、4Aという思考方法により問題対応力が身に付くことと、「個別相談制度」等のフォローを利用することにより学習方針がブレることなく、またはブレても修正しながら合格に辿り着くことができる点にあると思いました。

次ページではT.O.さんの1週間の学習スケジュールを大公開！

スケジュール表中の
表記について

論バタ講義 4A論文解法パターン講義 P28
条解講義 4A条解講義 P29

4A過去問分析講義 司法試験/予備試験 4A論文過去問分析講義 P32・33
論バタテキスト 4A論文解法パターンテキスト P22

2015年8月 4A基礎講座受講開始 ~2015年12月末

月	火	水	木	金	土	日
2:00	就寝					就寝
3:00	論バタ講義の予習					
4:00	論バタ講義 Web受講(倍速)				論バタ講義の予習	
5:00					論バタ講義 Web受講(倍速)	
6:00	身支度				家事(掃除・洗濯)	
7:00	通勤				子供の世話(食事・遊び)	
8:00					外出(家族サービス・気分転換)	
9:00	会社					
10:00						
11:00						
12:00	会社休憩時間					
13:00					子供の世話(食事・遊び)	
14:00					子どもと昼寝	
15:00	会社				論バタ講義の予習	
16:00						
17:00	通勤・子供の保育園迎え				犬の散歩・家事(買い物・選択)・子供と遊び	
18:00	犬の散歩					
19:00	子供の世話(食事・入浴・遊び)・家事(洗濯)				子供の世話(食事・入浴・遊び)	
20:00						
21:00						
22:00	就寝					就寝

通常、予習は必須ではないと思いますが、私の場合、論点発見型思考から脱却する必要があったので、中村先生の講義を聴く前にまず自分で4Aを使って、問題文を整理していました(解答作成までは行っていません)。

中村先生はややゆっくり目にお話しされるので、倍速でも十分に聞き取ることができました。

通勤中は、眠くならない限り、論バタ講義の復習(問題文を読み、4Aを使って整理する練習)

休憩中は、眠くならない限り、論バタ講義の復習(問題文を読み4Aを使って整理する練習)

歩きながら論バタ講義の予習

通勤・子供の保育園迎え
犬の散歩
子供の世話(食事・入浴・遊び)・家事(洗濯)

子供の世話(食事・入浴・遊び)

2016年4月上旬~2016年5月中旬 短答式試験受験まで

月	火	水	木	金	土	日
2:00	就寝					就寝
3:00	条解講義 web受講(倍速)					
4:00					短答過去問等の学習	
5:00	短答過去問等の学習				論文過去問(司法・予備)を解く	
6:00	身支度				家事(掃除・洗濯)	
7:00	通勤				子供の世話(食事・遊び)	
8:00					外出(家族サービス・気分転換)	
9:00	会社					
10:00						
11:00						
12:00	会社休憩時間					
13:00					子供の世話(食事・遊び)	
14:00	会社				子どもと昼寝	
15:00					論文過去問(司法・予備)を解く	
16:00						
17:00	通勤・子供の保育園迎え				犬の散歩・家事(買い物・選択)・子供と遊び	
18:00	犬の散歩					
19:00	子供の世話(食事・入浴・遊び)・家事(洗濯)				子供の世話(食事・入浴・遊び)	
20:00						
21:00						
22:00	就寝					就寝

論バタ講義をある程度復習していれば、条解講義は聴き流すだけで、記憶が喚起されるので、効率的に条文知識等の確認ができます。

早稲田経営出版等の肢別過去問は隙間時間で繰り返しやすい形式なのでこれを利用しました。また、条解テキストに加えて、早稲田経営出版等の逐条テキストや択一六法を読み、知識を整理しました。

短答は比較的得意だったので、論文を解く際の感覚を維持するため、短答学習期でも論文学習は継続していました(中村先生のアドバイスによるものです)。

家族の隙を見ては、肢別過去問を解きました。

昼寝しながら肢別過去問を解きました。

通勤中は、眠くならない限り肢別過去問を解きました。

休憩中は、眠くならない限り肢別過去問を解きました。

歩きながら肢別過去問を解きました。

2016年1月~2016年4月上旬

月	火	水	木	金	土	日
2:00	就寝					就寝
3:00	論文過去問(司法・予備)を解く					
4:00	4A過去問分析講義 web受講(倍速)				論文過去問(司法・予備)を解く	
5:00					4A過去問分析講義 web受講(倍速)	
6:00	身支度				家事(掃除・洗濯)	
7:00	通勤				子供の世話(食事・遊び)	
8:00					外出(家族サービス・気分転換)	
9:00	会社					
10:00						
11:00						
12:00	会社休憩時間					
13:00					子供の世話(食事・遊び)	
14:00					子どもと昼寝	
15:00	会社				論文過去問(司法・予備)を解く	
16:00						
17:00	通勤・子供の保育園迎え				犬の散歩・家事(買い物・選択)・子供と遊び	
18:00	犬の散歩					
19:00	子供の世話(食事・入浴・遊び)・家事(洗濯)				子供の世話(食事・入浴・遊び)	
20:00						
21:00						
22:00	就寝					就寝

論文過去問は、問題文の事情を使ったあてはめについても検証したかったので、答案全文を作成しました。後の検証の便宜や勉強の中断・再開の際に便利であるためパソコンを用いて作成しました。その反面、試験の制限時間を体感することはできませんでした。

通勤中は、眠くならない限り、論文過去問を眺め、4Aを使ってどのように整理し、解答するかを考えていました。

家族の隙を見ては、論文過去問をこっそり眺め、4Aを使ってどのように整理し、解答するかを考えていました。

休憩中は、眠くならない限り、論文過去問を眺め、4Aを使ってどのように整理し、解答するかを考えていました。

歩きながら、論文過去問を眺め、4Aを使ってどのように整理し、解答するかを考えていました。

記憶になんとなく残っている論文過去問を思い出し、4Aを使ってどのように整理し、解答するかを考えるうちに寝ていました。

2016年5月中旬 短答式試験後 ~2016年7月上旬 論文式試験受験まで

月	火	水	木	金	土	日
2:00	就寝					就寝
3:00	論文過去問(司法・予備)の復習					
4:00	論バタテキストの復習				論文過去問(司法・予備)を解く	
5:00					論バタテキストの復習	
6:00	身支度				家事(掃除・洗濯)	
7:00	通勤				子供の世話(食事・遊び)	
8:00					外出(家族サービス・気分転換)	
9:00	会社					
10:00						
11:00						
12:00	会社休憩時間					
13:00					子供の世話(食事・遊び)	
14:00	会社				子どもと昼寝	
15:00					論文過去問(司法・予備)を解く	
16:00						
17:00	通勤・子供の保育園迎え				犬の散歩・家事(買い物・選択)・子供と遊び	
18:00	犬の散歩					
19:00	子供の世話(食事・入浴・遊び)・家事(洗濯)				子供の世話(食事・入浴・遊び)	
20:00						
21:00						
22:00	就寝					就寝

論文過去問の復習もパソコンを用いて全文答案作成していました。但し、試験直前の2週間については、予備試験の過去問は手書きで答案作成するようにして、時間制限を意識しました。

通勤中は、眠くならない限り、論文過去問を眺め、4Aを使ってどのように整理し、解答するかを考えていました。

家族の隙を見ては、論文過去問をこっそり眺め、4Aを使ってどのように整理し、解答するかを考えていました。

休憩中は、眠くならない限り、論文過去問を眺め、4Aを使ってどのように整理し、解答するかを考えていました。

歩きながら、論文過去問を眺め、4Aを使ってどのように整理し、解答するかを考えていました。

記憶になんとなく残っている論文過去問を思い出し、4Aを使ってどのように整理し、解答するかを考えるうちに寝ていました。

T.O.さん
から一言

上記スケジュールを見ると、いかにもストイックに勉強しているように見えるかもしれませんが、実際は、元来勉強嫌いな性分なので、疲れたりやる気が出ない、テレビゲームをしたい、飲み会で二日酔いなどのダメダメな理由により、上記スケジュール通りの勉強を完璧に実践できていたわけではありません。上記を理想のスケジュールとしつつ、21:00過ぎに就寝し翌3:00に起きて勉強するスタイルを確立させていった感じです。それでも、最終的に予備試験に合格できたので、社会人の方でも、法曹の夢を諦めずに頑張っていたら幸いです。